

第3回日仏外務・防衛閣僚会合（2+2） 共同発表【骨子】

- 日仏が自由、民主主義、人権、法の支配という共通の価値を有することを再確認。
- 仏は、国際の平和と安定により積極的な役割を果たす日本の決意と取組を歓迎・支持。
- アジアと中東・アフリカの間の自由で開かれた安全な交通の維持が必要との認識を共有。日本は「自由で開かれたインド太平洋戦略」を推進していくことを強調。両国が共に「太平洋国家」であることを踏まえ、地域に関する対話の強化を確認。
- 世界のあらゆる場所でのテロ攻撃を非難。G7伊勢志摩サミットで採択された「テロ及び暴力的過激主義対策に関するG7行動計画」の実施に注力。
- NPTの新たな運用検討サイクルの成功を確かなものとする決意を再確認。天野IAEA事務局長の下、国際的な核不拡散体制の強化においてIAEAが果たす重要な役割を確認。
- 気候変動に関し、全ての国がパリ協定の実施を優先課題とみなすべきことを確認。
- 南シナ海に関し、埋立て、拠点構築、その軍事目的での利用といった緊張を高める一方的行動への強い反対を表明。全ての当事者に対し、国際法上の義務の遵守とそうした行動の自制を要求。UNCLOS等の国際法に基づく航行・上空飛行の自由、紛争の平和的解決の重視を確認。南シナ海に関し、行動宣言（DOC）の完全・効果的な履行と効果的な行動規範（COC）の早期策定を求め、この方向でのASEAN加盟国と中国の努力を歓迎。
- 北朝鮮による核及び弾道ミサイル計画の進展への重大な懸念を再確認。2016年の北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射を断固非難し、北朝鮮による関連安保理決議の遵守を要請。EUによる独自制裁強化の重要性を確認。北朝鮮に対し拉致問題解決を強く要請。
- ウクライナの主権及び領土一体性の完全な尊重を改めて表明。ミンスク合意の完全な履行の重要視を再確認。
- 中東に関する日仏対話及び協力の強化を確認。
- シリアの人道状況の悪化に強い懸念を表明。関連安保理決議の実施による人道アクセスの確保を要求し、全ての当事者に対して軍事行動の即座の停止を強く呼びかけ。
- イランとEU3+3の核合意の支持を再確認し、イランによる厳格な履行の重要性を強調。
- アフリカにおける両国の特別なパートナーシップを強化する意思を再確認。特に、平和維持及び国境管理のための訓練を通じたアフリカの能力強化に取り組むことを確認。
- 日本とEUの安保協力の重要性を強調。日本とNATOの協力の深化への期待を表明。
- 安保理改革の重要性を確認。仏は日本を含むG4の常任理事国入りへの支持を再確認。
- 物品役務相互提供協定（ACSA）の締結を目指した交渉を開始することで一致。
- 防衛装備品・技術移転協定の発効を歓迎。機雷対処用水中無人航走体に関する協力の早期具体化への期待を確認。また、アジア及び世界の平和と安全のため、武器・機微な汎用品及び技術に係る輸出管理制度の重要性を強調。
- 海洋安全保障、テロ対策、人道支援・災害救援等の分野で、アフリカ及びアジア諸国の能力構築のための支援に関する更なる連携の追求を確認。
- 宇宙状況把握（SSA）に関する協力について具体的進捗があったことを歓迎。衛星技術を用いた海洋観測分野での二国間協力推進を呼びかけ。
- 第3回日仏サイバー協議の開催に祝意。
- アジア太平洋地域での人道支援・災害救援分野での協力継続を確認。2017年の「ジャンヌダルク」練習艦隊の日本への寄港時、及びアデン湾における海賊対処のマージンにおいて、日仏の共同訓練のレベルを高めることで一致。